

令和7年8月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和7年8月26日(火)午後2時00分開会
午後3時20分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第22号から議案第24号
日程第7 報告事項 報告第23号
日程第8 その他

○会議に出席した委員（5名）

1番 加嶋幸彦 2番 大野裕己
3番 中野文雄 4番 三木尚美
5番 ルーベッシュ裕子

○説明のため出席した者（11名）

学校教育部長 山本直也 学校教育部次長 井上久敏
(兼学校再編担当)
学校教育部次長 久保修一 教育総務課長 井上尚博
(兼教育総務課担当課長)
学校再編課長 上野 樹 学校教育課長 西浦健司
地域クラブ推進課長 藤田崇宏 教育支援課長 市原 敦
教育研修所長 出藏裕昭 学校給食課長 宮城信之

三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会
委員長 山口貴久

○代表学校長（2名）

中学校校長会代表 奥 雅喜
小学校校長会代表 村岡智行

○会議に関係した事務局員（3名）

教育総務課 斉藤健史
上仲あさ美
清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 加 嶋 幸 彦

教 育 委 員 中 野 文 雄

日程第1 開 会

○教育長
(加嶋 幸彦)

ただいまから令和7年8月第322回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和7年7月28日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(加嶋 幸彦)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは、会議録署名委員の指名に移ります。
会議録署名委員は、3番 中野文雄 委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(加嶋 幸彦)

会期は本日一日、令和7年8月26日火曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(加嶋 幸彦)

1) 阪神地区教育長会議(7/29)
7月29日(火)西宮商工会館において、県教委阪神教育事務

所が主催する阪神地区教育長会議が開催されました。当日は、阪神地区7市1町の教育長や部長級職員と兵庫県教育長及び兵庫県教育委員会事務局の課長級が一堂に会し、「中学校部活動の地域展開」「学力向上対策」「県立学校の活性化と市町との連携」の3つを議題として意見交換をしました。

2) N I E全国大会神戸大会出席(8/1)

N I E全国大会神戸大会が7月31日と8月1日の2日間、神戸市で開催され、2日目の分科会での助言者として出席しました。この大会は日本新聞協会、兵庫県と開催地神戸市の教育委員会が共催、文部科学省、小・中・高の校長会などが後援し、今年度のテーマ「時代を読み解き、いのちを守るN I E」を掲げ、初日は、佐渡裕氏指揮スーパーキッズオーケストラの演奏、芥川賞作家の小川洋子氏の記念講演などに続き、ジャーナリストの池上彰氏を司会にパネル討議が行われました。2日目は、県内の小・中・高等学校、特別支援学校28団体等が新聞を活用した教育実践について発表されました。私は、兵庫県立有馬高等学校を担当し「社説読み比べ」を通して、新聞でも発行者によって主張が異なることに気づかせるとともに、根拠をもとに情報を正しく見極め自らの考えを判断する力を育てる大切さが発表され、全国から参加された先生方や新聞記者からの質疑や意見に適切に答えられていました。各教科での探究的な学びが、全国的に進められていることを改めて実感した大会となりました。本市においても、自分の持つ知識や技能を高めつつ、それらを活用して思考、判断し表現する力を高める学習をさらに推進していきたいと思います。

3) 三田まつり(8/2)

8月2日(土)、三田市役所と郷の音ホールを拠点として第46回三田まつりを開催しました。私は初めて参加し、市長、副市長に同行し屋台の方にご挨拶したり、夕暮れには、櫓の回りで市民の皆様と三田の踊りを楽しみました。多くの家族づれや子どもたちが参加され、市外からの参加もあったように聞いています。地元企業や団体からの協賛金、市役所職員など多くの方々の運営関係者のおかげで無事終えることができましたように思います。

4) 第1回阪神7市1町教育長協議会(8/20)

8月20日(水)芦屋市が幹事となり、芦屋市役所で阪神7市

1 町教育長協議会が開催されました。テーマとして①指導主事の給与格付、②小中学校の再編統合、③部活動の地域展開を設定し、阪神地区の各市町教育長で現状について情報交換しました。

5) 兵庫県市町村教育委員会連合会主催 全県夏季教育委員会研修会(8/21、22)

8月21日、22日、兵庫県市町村教育委員会連合会主催の「全県夏季教育委員会研修会」が神戸市中央区の六甲荘で開催され、本市の教育委員の皆様もご参加くださいました。初日は、「不登校の要因分析」というタイトルで、公益財団法人子ども発達科学研究所、主席研究員の和久田学所長からご講演いただきました。研究所が取り組まれた文部科学省委託事業「不登校の要因分析に関する調査研究」から、不登校の起こる要因について、具体的なデータをもとに分析され、学校風土の向上、授業改善、学習支援の充実、デジタル端末の活用などによる児童生徒の不調に早期に気づくことなど、分析に基づく方策について発表されました。後半は、兵庫県教育委員会体育保健課、土井課長から、中学校部活動の地域展開の推進について講演があり、地域クラブが発足した経緯と現状について説明がありました。2日目は、梅花女子大学の村松好子教授から、外国人児童生徒等教育の現状・施策について講演がありました。日本語指導が必要な児童生徒が平成30年度から令和5年度までの間で、約2倍以上増加するなかで、受け入れに関する条約や学習指導要領等での根拠や施策を示していただきながら、日本語指導に関する現状と課題についてご説明いただきました。日本の学校生活への適応を図り、日本語とともに各教科での学習を進めるために、必要なことをご教示いただきました。

私からは以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは本日の議事に入ります。

(1)教育に関する事務の管理及び執行の状況を点検し、及び評価することについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第13号関係】

議案第22号「令和7年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について」事務局から説明をお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

議案第22号「令和7年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について」事務局から説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご質問、ご意見等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

点検・評価委員の方のコメントを拝見しますと、この後の教育委員会の条件整備につながっていくよう、きめ細かく見ていただき各自の視点で評価いただいていると思います。内容について質問ですが、点検・評価報告書24ページの道德教育の推進の中で、カリキュラムセンターの活用については評価に△がついており、72ページの教職員の資質向上についての中でも、カリキュラムセンターの活用の啓発が弱い点が課題として書かれています。どちらもカリキュラムセンターへのコメントとも言えそうですが、やはり道德教育と教職員の資質向上それぞれに対する評価と捉える方が良いでしょうか。それとも、カリキュラムセンター全体への評価と捉える方が良いでしょうか。

○教育研修所長
(出藏 裕昭)

現在、先生方が使用するパソコン上の文書管理システムでカリキュラムセンターのフォルダを作成していますが、フォルダのみではなかなか伝わりにくい部分があります。フォルダの中には指導案や教材等も入っていますが、著作権等の兼ね合いから随時精査しながら入れている状況です。今後、クラウド上にあげることが可能かどうか検証しながら、先生方がより利用しやすいカリキュラムセンターへ向けて取り組んでいるところです。

○教育委員
(大野 裕己)

よくわかりました。カリキュラムセンターの取組については、先生方の行動変容までつながることが大事だと思いますので、その全体を見ながら条件整備を進めていただければと思います。報告書15ページから16ページの基本施策1「学力向上指導改善プラン」について、指標の全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国との比較が、実績では▼で未達となっています。教育委員として、学校訪問をさせていただく中では、年々各校でも全国学力・学習状況調査の

分析を行い、学校評価も合わせて校内の指導評価のポイントを定めるなど、校長、教職員が一体となって努力されています。検証改善が進んでいる学校も多く見られたことは評価できますので、これらを積み上げて最終目標である、児童生徒の学力向上へつながっていけばと思います。今後は、学校間で分析等ノウハウが共有されるようすすめていただくことも含めて、先生方が指導改善に進めるよう丁寧にサポートいただけたら良いと思います。

○教育長
(加嶋 幸彦)

他にご意見やご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

昨年度から成果が上がっているものもありますが、引き続き課題として残っている点も見受けられます。その中でも、点検・評価委員の皆さんが共通で認識されている課題の一つは図書館教育だと思います。時代社会の変化、情報化生活の変化が進む中で子どもたちの活字に触れる機会が減っていることもあり、なかなか学校教育だけの解決は、難しい課題だと思います。読書活動をさらに推進するためには、現在配置されている司書教諭を有効活用するだけでなく、幼・小・中連携の中で取り組む大きな柱のひとつに掲げることが大切になると思います。幼少期の読み聞かせから活字に触れる機会があり、図書館を活用し、膨大な情報の中から自らが必要なものを取捨選択する力を身につけることは大事なことだと思います。また、国語教育の充実は、活字を媒体として得られる情報を整理したり、物語の登場人物の心情を想像したりして、自分の考えをまとめていく力が育まれるものなので、図書館教育の充実と並行して、重点的に取り組んでいくことも大切だと思います。いじめ問題については、誰にも相談できないという理由があり、いじめの早期発見の取組とともに、誰かに相談できる体制を学校内で整えていくことが大事だと思います。委員の皆さんの意見から、サポートルームをどのように各学校の実態に応じて有効活用していくことが、今後の課題であると感じました。在住外国人教育の課題については、在住外国人児童生徒が年々増加傾向にあります。その子どもたちにとって、日常生活の言語と学習言語が違うということをまず学校側が理解し、保護者も含めた支援体制を充実させていくことが大切だと思います。また、各学校の抱える実態と課題に応じて、行政が実態に応じたサポートしていく

という視点が大事だと思います。点検・評価委員の意見の主な課題の中に、学校生活支援教員が一人で多数の児童生徒を担当する状況が見られるとあります。学校生活支援教員は市独自の事業として多数配置していますが、配置した後の学校現場での活用状況を行政側がきちんと把握する必要があると思います。学校によっては、せっかく配置してもらった人材を、本来の配置目的とは異なる業務につかせていることがあるのではないかと危惧しています。それぞれ専門性がある必要の実態に応じて配置されているので指導、支援に有効活用していただきたいです。教育委員会事務局としては、点検・評価委員の方の意見や課題を認識し、また、その課題の裏側にある一面にも目を向けながら取組を進めていただきたいと思います。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

外国人児童に対する指導について、周りの保護者の方に伺いますと、宿題の対応などまだまだ保護者と先生で指導やケアをされているところが多いようです。教育委員会として、先生方の重荷にならないよう研修センター等の活用も含め、どのようにサポートしていけるのかは今後の課題だと思います。子どもたちにとって、文化や言語が違う外国人児童がいる状況を、バックグラウンドを含めて理解することは難しいと思います。その中で、何をもとに理解を深めていくことができるかと考えたとき、やはり道徳教育や人権教育が大事だと思います。その子自身への多文化共生サポートや、語学指導はもちろんですが、その子がいる意味を理解し、生徒間や学校間で受け入れていただけるような学びの場が今後必要になると思います。

○教育長
(加嶋 幸彦)

委員の皆さんのご意見も施策に反映していきたいと思います。これまでの学力向上においても、認知能力だけでなく、子どもの内面をいかに育てていくかという非認知的能力を学力向上の中で培っていくことが大事だと思います。三田には豊かな自然が多くありますので、それらを見直しながら活用し、三田の教育の中で非認知能力を育ていければ良いと思います。また、これから策定します第4期教育振興基本計画にも生かしていきたいと考えています。外国人児童への対応につきましては、他市との連携の中でもより良い方法を模索しながら進めてまいりたいと思います。外国語だけでなく、

<p>○教育長 (加嶋 幸彦)</p>	<p>道徳や人権教育により子どもたちの内面をいかに育ていけるか、人を大切にする、豊かな心を育てることを平行して進めていくことが大事だと思います。</p>
<p>○教育長 (加嶋 幸彦)</p>	<p>他に何かご質問等ございませんか。 なければこのように承認します。</p>
<p>○学校給食課長 (宮城 信之)</p>	<p>つづきまして、議案第23号にうつります。 (2) 附属機関の委員その他法令に基づく各種委員を委嘱し、又は任命することについて 【三田市教育委員会事務委任規則第1条第14号】 議案第23号「三田市学校給食運営協議会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>○教育長 (加嶋 幸彦)</p>	<p>議案第23号「三田市学校給食運営協議会委員の委嘱について」事務局から説明</p>
<p>○教育長 (加嶋 幸彦)</p>	<p>何かご質問等ございますか。 なければこのように承認します。</p>
<p>○教育研修所長 (出藏 裕昭)</p>	<p>つづきまして、議案第24号にうつります。 (3) 教科用図書の採択を行うことについて 【三田市教育委員会事務委任規則第1条第15号】 議案第24号「令和8年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>○三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会委員長</p>	<p>議案第24号「令和8年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択について」事務局から説明</p>
	<p>「令和8年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択について」三田市立特別支援学校高等部教科用図書選定委員会の経過等を資料により概要説明。</p>

(山口 貴久)

「令和8年度使用三田市立特別支援学校高等部教科用図書の採択に関する答申」【学校教育法附則第9条の規定による一般図書】について、内容説明。

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご意見やご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

新規で追加された13冊のうち「いちごりら」と「にこにこ」の2冊を拝見しましたが、重度の障害のあるお子さんがおられることを想定した教科書だと思いました。「にこにこ」は、リズム感が感じられて楽しい教科書だと思います。言語で表現することが難しい子どもにとっても、表情や動作等で表現力を促すような視覚でも理解しやすいしくみになっていると思いました。基本的な○や▽、□といった単純な図形が用いられており、彩り豊かで目に入りやすい本だと思います。「いちごりら」は、ことばあそびにもユーモアがあり、子どもにとっては日常生活の中でも、本を通して楽しい会話を生むようにできていると思いました。言語発達を促すような、子どもの課題に応じた大変よい教科書を選んでいただいたと思います。

○教育長
(加嶋 幸彦)

他にご意見やご質問等ございますか。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

私たちには見えない世界が見えている、障害のあるお子さんたちの想像力を掻き立てるこれらの本はとても素晴らしいと思いました。この「にこにこ」は英語版も出版されており、バイリンガルのお子さんには日本語版と2冊プレゼントすると大変喜ばれる本です。日本にしかない独特の音に触れる良い機会にもなると思います。

○教育委員
(大野 裕己)

調査の観点に即した上で、お子さんに使いやすい教科書を選んでいただいたと思います。

○教育委員
(三木 尚美)

「いちごりら」のイラストは大変魅力があると思いました。内容も、ユニークであたりまえじゃない展開が想像力を膨らませながら楽しく学べると思います。「にこにこ」は視覚的に引き

付けられるカラフルな本で、デザイン性が高く、まるで音が聞こえてくるような、見ているだけでワクワクするような総合的な学びに適した本で大変素晴らしいと思いました。

○教育長
(加嶋 幸彦)

他にご意見等ございますか。
なければ採択にうつります。
まず、申請がありました資料25ページの高等学校用教科用図書、資料24ページの小中学校用教科用図書(検定教科書)、文部科学省著作教科用図書特別支援学校小・中学部用、拡大教科書等の教科用特定教科書を採択してよろしいですか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(加嶋 幸彦)

次に、資料27ページの新規一覧13冊のうち、7月教育委員会定例会にて協議を行った11冊を除いた2冊の一般図書について先ほど協議いただきましたが、採択してよろしいですか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(加嶋 幸彦)

では申請書のとおり採択します。

日程第7 報 告 事 項

○教育長
(加嶋 幸彦)

続きまして協議及び報告事項に移ります。
報告第23号「9月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第23号「9月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、9月もよろしく

お願いします。

日程第8 その他の報告

○教育長
(加嶋 幸彦)

では、次回、9月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

9月教育委員会定例会の開催日時は令和7年9月26日(金)午前10時00分から、南分館601会議室で予定しています。よろしくお願いいたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは、各校長からの報告です。中学校代表校長より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(奥 雅喜)

○部活動について

運動部の3年生にとって最後の中学校体育連盟の総合体育大会が、8月中旬の全国大会までを終えたところです。陸上競技において、共通男子800m、男子1500mの2名が沖縄県で開催される全国大会に出場しました。地域クラブの剣道から男子1名が近畿大会へ出場、また、学校外のクラブで活動する、水泳女子800m自由形で鹿児島県での全国大会に出場しました。7月末には吹奏楽部が、吹奏楽コンクール西阪神地区大会に出場し、それぞれが素晴らしい演奏を披露しました。現在、運動部では新チームが始動し、1・2年生を中心に新しいリーダーのもと、熱中症を警戒しながらも秋の新人大会をめざして努力しています。野球では、ゆりのき台・けやき台・藍の3校が、サッカーでは、富士・ゆりのき台・八景・狭間・藍の5校が新たに合同チームとなりました。市新人大会では、サッカーでは三田学園を加えて3チームのみでの大会となります。合同部活動の開始前には合同で保護者説明会を開き理解を得て、新チームとしての活動をスタートしています。夏休み中には、学習会(補充学習)や水泳指導の補習、部活動等において、気になる生徒の観察や声かけ、学習支援などを行いました。3年生は、進路を実現するために学習に励み、さまざまな学校のオープンスクールに参加しています。また、多くの学校では地域のお祭り等に生

徒会や吹奏楽部などが協力して活動し、地域のみなさんにも大変喜ばれていました。

○夏季休業中の研修について

教職員は部活動指導や学習相談、学習学力状況調査の分析など様々な活動に励みながら、校内・校外で実施される様々な研修会への参加も含め研鑽に努めました。各学校の研修会はできる限り効率的に集約・実施し、計画的に特休や年休を取得し、代休を消化しながらリフレッシュできるよう工夫しました。忙しい日々が続くと予想される2学期を健康に乗り切れるように万全な準備をしています。今年度より、2学期には、全ての学校が体育大会を10月に行います。2学期にも全職員が力を合わせて教育活動に取り組みますので、今後ともご理解・ご支援いただきますように、よろしくお願いいたします。

○小学校校長代表
(村岡 智行)

○熱中症対策について

長かった夏休みも、あと残すところ1日となりました。今年の夏も連日「熱中症警戒アラート」が発表されるなど「猛暑」が続きました。国内最高気温も近隣の丹波市で41.2度が記録され、その後、群馬県の伊勢崎市で41.8度が記録されるなどこれまでにない暑い夏となりました。暑さは9月まで続くとのこと。1学期末にも、水泳をはじめとした屋外での教育活動、休み時間の外遊びなどを取りやめたり、体育館での集会活動も、各教室をつないでオンラインに切り替えるなどの状況も見られました。教育活動にも影響を与える暑さは、学校教育においても大きな課題となっていることを強く実感しています。8月28日よりいよいよ2学期が始まります。子どもたちがさまざまな夏の思い出を抱え、登校してくてくれることを楽しみにしています。始業式の日のにぎやかな教室の様子が目に浮かぶようです。そんな中、しばらくは暑さ対策に気を配り、子どもたちが元気に過ごせるよう工夫した教育活動を進めていきたいと思っております。

○夏季休業中の研修について

夏季休業期間中、各校では、人権教育や特別支援教育、生徒指導や研究推進、学力向上等さまざまな内容について校内研修会を実施しました。また、教育研修所主催の「授業づくり

講座」をはじめ、様々な研修の機会と捉え、各教職員が自らの資質能力の向上に努めることができたのではないかと考えております。小学校長会におきましては、新たな教育課程の編成、学年担任制などの取組を先進的に進めておられる川西市立多田小学校を訪問し、取組の状況などについて研修を行いました。次期学習指導要領では、より柔軟な教育課程の編成を各校で進めることなどについても検討されています。自校の状況を振り返るとともに、今後の取組について考える良い研修となりました。また小学校教頭会におきましても、本市での特別支援教育の現状について学ぶ機会として、ひまわり特別支援学校を訪問し研修を行いました。

○学校行事について

2学期からの行事につきましては、自然学校を実施する学校は11校、また20校すべての小学校が修学旅行を予定しております。加えて、2学期に校外学習を予定している学校も多くあります。運動会も2校が9月下旬から10月上旬に予定しています。10月から11月にかけては音楽会、研究発表会などの行事も控えています。そんな中、新型コロナウイルスの感染は大きく広がってはいませんが、新たな変異株のニュースも聞かれます。また、秋になればインフルエンザの流行も始まる可能性があります。各校で、子どもたちの感染症対策にも配慮し、子どもたちが元気に行事に参加し、心に残る思い出をたくさん作ってくださることを願っております。教育委員のみなさまには、ぜひ子どもたちや教員のがんばっている姿を参観いただけましたら嬉しく思います。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

ご報告ありがとうございました。
それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。